

CORAL REEF



CORAL REEF Vpt.02

発行元 NPO 法人ラフト コーラル
〒274-0865 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 浩朗

表紙題字 Mise Souzuke

2022 年 9 月 30 日 発行

1冊のカレンダーから・・・

コーラル職員 山本多佳子

私が20歳の頃のことで、家にダスキンのカレンダーがかけられていました。そのカレンダーにはなんと素朴ですてきな絵が12か月分印刷されており、毎月めくる度、これまでに見たことのない線でたどられた形、ていねいに塗られた色の筆跡、そんな絵を眺めては楽しんでた、そのカレンダーの端っこには「ねむの木学園」と書かれてあり、カレンダーの裏側にはねむの木学園の紹介がされていました。何か心の隅っこにねむの木学園の温かい絵達がひょっこりと住み着いてしまったような、そんな思い出があります。

・・・それから年月が経ち、障害を持つ方々のアート活動のお手伝いができないかな、と思うようになっていました。いくつかの施設を見学に行ってみたりする中で、素敵な作品を制作されている作家さんたちに出会い、絵もさながら、その作家さんのお人柄や存在感に触れ、これまでに自分の見ていた世界が広がるような感覚を覚えたものです。そんな中でラフトに出会い、ここコーラルで日々支援をさせていただき現在にたどり着いています。

しかし、コーラルに来て下さっている方々に単純に絵を描いて頂く、イコール作品が続々と生まれてくる、なんていうことはない、ということを知りました。

コーラルでの過ごし方は、本当に人それぞれで、ひたすら描き続けられる方、あっという間に描き終えて終了される方、室内をマイペースに歩かれる方・・・、歌を唄っている方等々・・・。そして、作品から商品化させて頂いたペンケースやTシャツ等を、作者の方に見て頂いても、驚くほどのドライな（笑）反応だったり・・・、しかしそんな評価など気にもとめないところがまた、かっこいいなと感じるのですが。

そんな日常を過ごしながら、何よりも、コーラルに来て下さっている方々の表情だったり、存在感に新しい発見があったり、また、一緒に困ったり、笑ったり、そして、そんな日々を大切にしたいと思うようになっていました。コーラルは始まってまだ3年経っておらず、活動も何やら手探りですが、利用者の方々が穏やかに安心して過ごせる場所でありたいという思いを大切に支援にあたっていきたいと思います。また、そんな中から生まれてくる作品たちを何らかの形で外に発信できたらいいな・・・という想いから、コーラルにてInstagramを始めることになりました。日々の活動、作品や商品たちを少しずつ紹介させて頂く予定です。

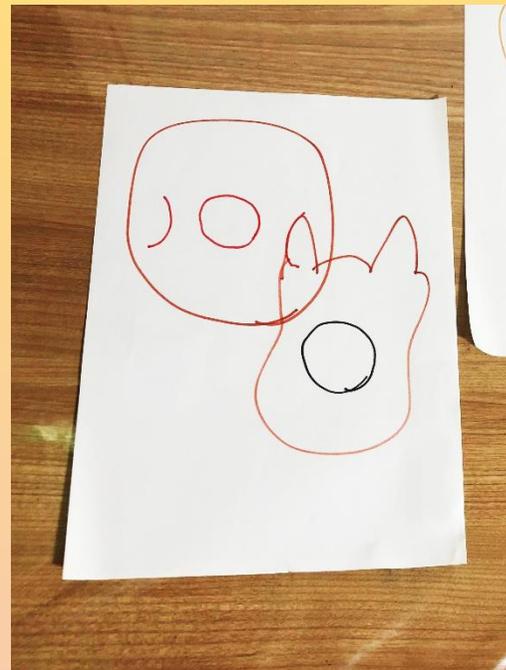
現在は刺し子の作品をコースターにしたり、布の商品を作ったりしています。無理せず、少しずつ、できることをしながらコーラルの活動をみんなで楽しんでいけたらと思っています。

そんなわけで、
Instagram 始めちゃいます💧



『はい、チーズ』

コーラル管理者 土屋滋朗



みなさん、この絵がなんの絵かわかりますか？

つい先日、ある利用者さんが迷いのない筆跡でスラスラと描いたこちらの絵。左上の丸いのは、そう、誰が見てもわかりますね。みんなのヒーロー、アンパンマンです。最小限の線や図形だけでミニマルに表現されていますが、特徴を見事にとらえていて、わたしもすぐに何を描いたか当てることができました。

となれば、右下の絵は、、、もうおわかりでしょうか。そうです、名犬チーズです。一度そう思って見ると、もうチーズにしか見えません。やはりこちらも、極めてシンプルな線だけで特徴を見事にとらえているといえるでしょう。ここまで簡略化しながら、「わか

る」と「わからない」ギリギリのラインで情報を残すって、簡単なことではありませんよ。彼女のモノをとらえる視点に、わたしは本当に感心してしまいました。

ところで、この絵を描いた時のエピソードには続きがあります。名犬チーズを描き終えたあと、指でVサインを作り、「これは？」と隣で見ていたわたしに聞いてきたのです。

あ、わかりますわかります。わかりますとも。写真を撮られる時にするポーズ、「はい、チーズ」のチーズ！

「当たり！」と言わんばかりに、彼女はげらげらと笑いだしました。チーズとチーズ、両方おんなじ言葉！そんな純然たる事実の発見を前に、笑いが込み上げてきているようです。つられてわたしも可笑しくなっていました。

そういえば、彼女は写真も大好きで、カメラを向けると毎回ビシッとVサインを作ってくれます。

絵や創作って、そこに表現された目に見えるものだけがすべてではないんですね。構図、配色、技巧、そういったものを磨き上げていくのもひとつの芸術の在り方ですが、その人が歩んできた人生のほんのひとかけらが、ぼとりと紙の上にこぼれ落ちることもあります。その瞬間をわけてもらおうような気持ちで、ささやかなエピソードとともに作品を味わうのも、またひとつの芸術の楽しみ方なのではないでしょうか。

活動報告〈室内活動編〉

DRAWING!



コーラルのアート活動を彩るのは、利用者のみなさんが自由にのびのびと描いてくれた絵画作品たちです。

時間をかけて描き上げた大作から、気の向くままにペンを走らせたイラストまで、個性も制作スタイルも様々に、いつも目を楽しませてくれます。

今日はどんな作品が生まれるんだろう？それはわたしたち職員にも、そして作者本人にもわかりません。

SEWING!

刺し子にハマる方って、意外と多いんです。色とりどりの糸から好きな色を選び、ちくちく縫っていると、時間を忘れてしまうことも。

規則正しく模様を縫う方もいれば、デタラメ技法でとにかく縫いまくる！という方もいます。

「できました〜！」「糸ください！」

糸通しと玉どめのお手伝いで、職員も大忙しです。



秋の新品 入荷情報!



土曜日の午後の絵の具 マグ

by Ishino Hirono

付録:エッセイ

『Saturday Afternoon』



アニマルズ〜 マグ

by Kusaka Takako

付録:メッセージ

『タカちゃんからの手紙』



TORI トリトリ マグ

by Suzuki Yousuke

付録:インタビュー

『とりのひみつ』



オリジナルデザイン マグカップ (全3種類)

PRICE / ¥1,800 (選べる手作りコースター付き!)

10月初旬〜、コーラルギャラリーショップにて販売開始!



コーラル・アート・ラボラトリーだより

【2022 夏コーラルオリジナルTシャツ】販売に於いての報告

おかげさまで持ちまして、今夏トータルで 51 枚の T シャツ販売を達成することができました。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

購入者の多くは、保護者様やラフト職員が主でしたが、通りすがりでギャラリーショップに入られた一般の方や、スズリ販売サイトから購入して下さった方もいらっしゃいました。

私、サンゴ博士がTシャツを着用していると、Tシャツの絵について話題に上がることもありました。

しかし、まだまだ販売に於いては課題も多く、コーラルのアーティストたちの作品をいかに世に送り出しているか、日々研究中であります。

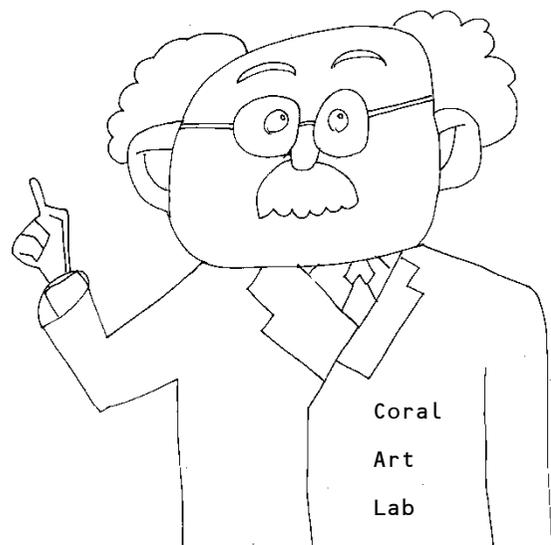
尚、販売により得た利益は、コーラルでの創作費用として画材などの購入に充てさせて頂いております。アート活動を通して創作を楽しみ、また、作品を見て下さる方々にも楽しんで頂けたらと思っております。

また、アートラボでは裁縫等のお手伝いをして下さるボランティアさんも募集しております。ご興味のある方はぜひお知らせ下さい。

今後とも、なにとぞよろしくお願いたします。



Tシャツまだまだ販売中！在庫残り少なくなっております！



ラボ所長 サンゴ博士

今号の一枚

「BIKE」



Illustration by Nishiyama Kazuki